編集後記・Editorials

魚類学雑誌
54(2): 255

魚類学雑誌54巻2号をお届けします．総説，本論文および短報，合わせて13本の構成です．1号でも力作8本を掲載しましたので，54巻の総ページ数は200を大きく超過しました．定価3,000円にふさわしい充実ぶりです．本号の編集作業は猛暑の夏に集中し，そろそろ「老人力」発揮の域に達する(？)主任はいささかバテ気味になりました．腹がへこんだのはうれしいのですが…ともあれ，今後も編集委員一同を遠慮なく酷使していただくよう，会員のみなさまにお願いします．本年から福井篤さん，本村博之さん，高橋大輔さん，ご三名に編集委員会の新戦力として加わっていただきました．委員会としてもたのもしい新人で体制を整え，みなさまの投稿をおまちしております．

本号から新企画「日本の希少魚類の現状と課題」がスタートしました．この連載シリーズは本学会自然保護委員会の発案になるものです．希少種の危機的な状況を広く学会員のみなさまに周知する上で，非常に有効なシリーズであると思います．息の長いシリーズになるよう，いのっております．

本巻の編集にあたり，下記の方々に校閲でご尽力いただきました．記してお礼もうしあげます．

遠藤広光(3)，波戸岡清峰，林　公義(3)，樋口正仁，井口恵一朗(2)，今村　央，岩田明久，神田　猛，河村功一，木村清志，北村淳一，北川忠生，北野　聡(2)，久保田仁志，桑原雅之，馬淵浩二，松本一範，三浦猛，宮　正樹，持田和彦，森田健太郎(2)，茂木正人，向井貴彦(2)，武藤文人，中嶋美冬，中島康裕，中村智幸，名波　敦，新垣誠司，小関佑介，坂野博之，佐々木邦夫，佐藤拓哉，瀬能　宏(4)，篠原現人，庄司隆行，鈴木教世，鈴木寿之，高橋大輔，高橋鉄美，高村健二，髙田啓介，武島弘彦，渡辺明彦，渡辺勝敏(5)，薮田慎司，山本祥一郎，山岡耕作，淀　太我．

（佐々木邦夫）